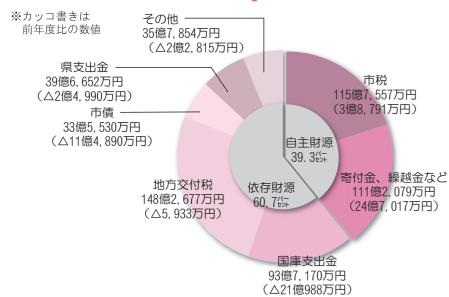
歳入[入ってきたお金]

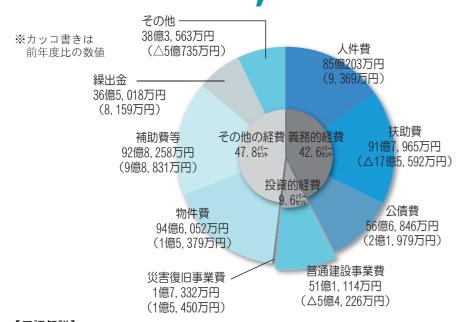
577億 9,519 万円



【用語解説】

▶自主財源·依存財源/市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることがで きる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される 財源と借入金が「依存財源」。▶地方交付税/市の行政需要と財政力に応じて、国 から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金/事業の財源として使い道が特定され た、国や県から交付されるお金▶市債/事業を行うために、市が国や金融機関か ら借りるお金

歳出[使ったお金] 548億 6,351 万円



【用語解説】

▶義務的経費/人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費 投資的経費/道路や学校の建設事業費など、将来的に残るものに対する経費▶扶 助費/児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費/過 去に発行した市債などを返すための経費▶補助費等/事務組合や各種公益団体に 対する補助金などの経費▶物件費/施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰 出金/一般会計から国民健康保険特別会計などの特別会計へ支出する経費

億5808万円(4・4絜)は、繰越金の増加などに る 市 7 (対)増加。 17税は3億 17税は3億 。億代 増加などにより 自主財源全は 多791万E 8 表

自

入を前年度と比較する

98に全円あ 9億3808万円(−・o캙)減少。歳入全により37億96−6 0 4 る 依 地 存 ŧ 体でも国庫支出 方財 がし 付の 税代 少 は表 金の 全 5 的 万 9 な で 円 3 ŧ 少 存 9 な財3のど源万で は

加り体円で

子 育て 4万円(5 扶時 どによる生産施設 の給施 8 約) 減付策 少 金に

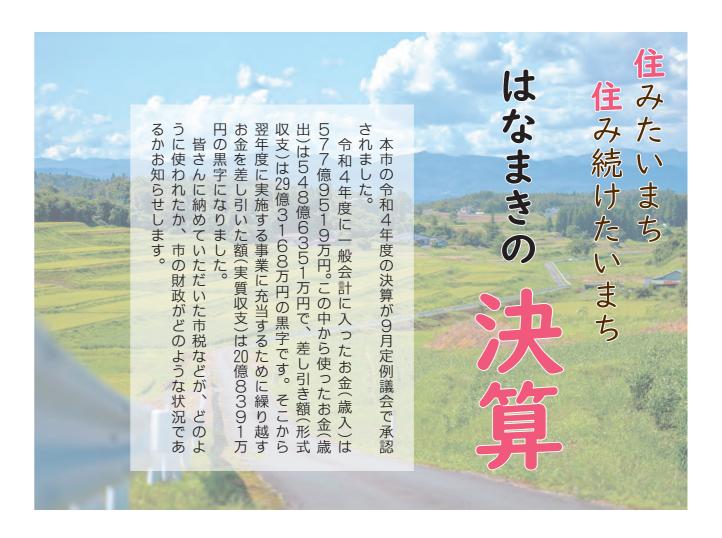
皆減

な

りな価少 し II 増 加 ど格 3 8 まし 万円(2.0 歳出全体では 4万円(2·8 智) 援給付金の皆増 の他の経費は、 室体で) 對) 減 少は

歳出を前年度 2 比較す る

3 普 7億ー634万円(2とによる補助費等の増格高騰緊急支援給付金しました。その他の経億8776万円(6:週建設事業費の減少に に



今知 4 年度の主な事業

(単位:50)

令和4年度の王な事業			(単位:万円)
分野	事業名	決算額	内容
しごと	道の駅「石鳥谷」施設再 編事業	1億8, 948 (3, 868)	道の駅「石鳥谷」のリニューアルに向けて、南側駐車場の工事などを進めました。
	産業団地整備事業	1億1, 430	新たな産業用地の整備に向け、(仮称)花南産業団地の実施設計やや用地買収に着手しました。
暮らし	花巻スマートインター チェンジ整備事業	1億1,039 (1億 76)	花巻PAスマートICの令和5年度内の供用開始に向けて、引き続き工事を行いました。
	公共交通確保対策事業	1億5, 860	路線バスへの補助や予約応答型乗合交通の利用促進を図ったほか、大迫 バスターミナルから岩手医大病院および盛岡赤十字病院を経由し、盛岡 駅まで運行する新規バス路線に対する補助を行いました。
人づくり	乳幼児、小中学生、高 校生等医療費助成事業	4億2, 595	安心して子育てができる環境を整えるため、市内の乳幼児、小中学生、高校生などの医療費助成を拡充し、医療機関窓口での支払い負担を軽減しました。
	第3子以降保育料負担 軽減事業	2, 436	安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、市独自に第3子以降の保育料の一部または全額を補助しました。
	母子保健事業	9, 746	妊産婦・乳幼児の健康診査や健康教室などのほか、母子の心身の健康をサポートする「産後ケア事業」「産前・産後サポート事業」を実施しました。
	学童クラブ施設整備事業	4, 336	南城学童クラブの増築を行ったほか、旧花巻学童クラブの解体に向けた実施設計などを行いました。
	岩手県立大迫高等学校 生徒確保対策事業	3, 574	大迫高校の生徒確保のため、生徒確保対策協議会への補助金を拡充した ほか、ホテルベルンドルフを学生寮として改修しました。
地 域 づ	定住促進事業	5, 888	子育て世帯や移住希望者の市内における住宅取得などを支援するため、 奨励金や補助金を交付しました。
7 < 9	振興センター等整備事業	1億7, 820 (809)	旧亀ケ森小学校を亀ケ森振興センターとして利用するための改修などを 行いました。

※決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です

5 2023(R5).10.1